

# iシェアーズ 月次ETF\*資金流入レポート



**渡邊 雅史**  
ブラックロック・ジャパン株式会社  
iシェアーズ事業部  
ストラテジスト

ETFは世界中で約5000本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は2.5兆ドル（約250兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生\*\*しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

\*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

\*\*ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

## 2014年7月のETF資金流入 ～満遍なく流出したものの個別には変化が～

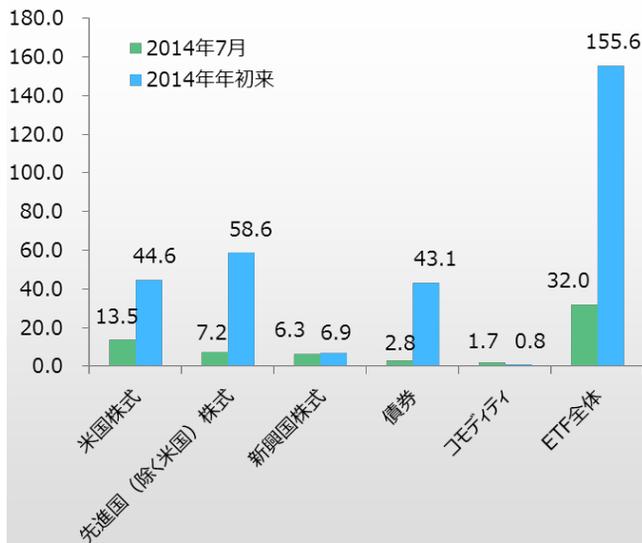
2014年7月の世界のETFへの資金流入は、320億ドル（約3.2兆円）の流入となりました。

7月は資産クラスとしては株式・債券ともにETFには資金流入でしたが、より中身を精査していくと、先月までとはやや様相が異なっています。米国株や先進国全体の株式に投資をするようなETFへの流入は相変わらず続いているが、先月まで勢いのあった欧州株への資金流入はほとんどありませんでした。一方で新興国の株式のETFへの資金流入は加速しており、市場参加者の注目が強まっている模様です。

一方で、債券のETFへの資金流入もプラスではありましたが、その内訳はハイイールド（高利回り）債券のETFから流出し、逆に国債や投資適格債券のETFへ流入する流れになっています。7月はアルゼンチン、ウクライナ、ポルトガル、中東情勢などの地政学リスクの話題が目白押しだったなかで、国債との利回り差がかなり縮まっていたハイイールド債券からは投資家が資金を引き上げた格好になりました。

株式ではリスクの高いと思われる新興国へ流入、一方で債券はハイイールドから流出という現象が起こっています。

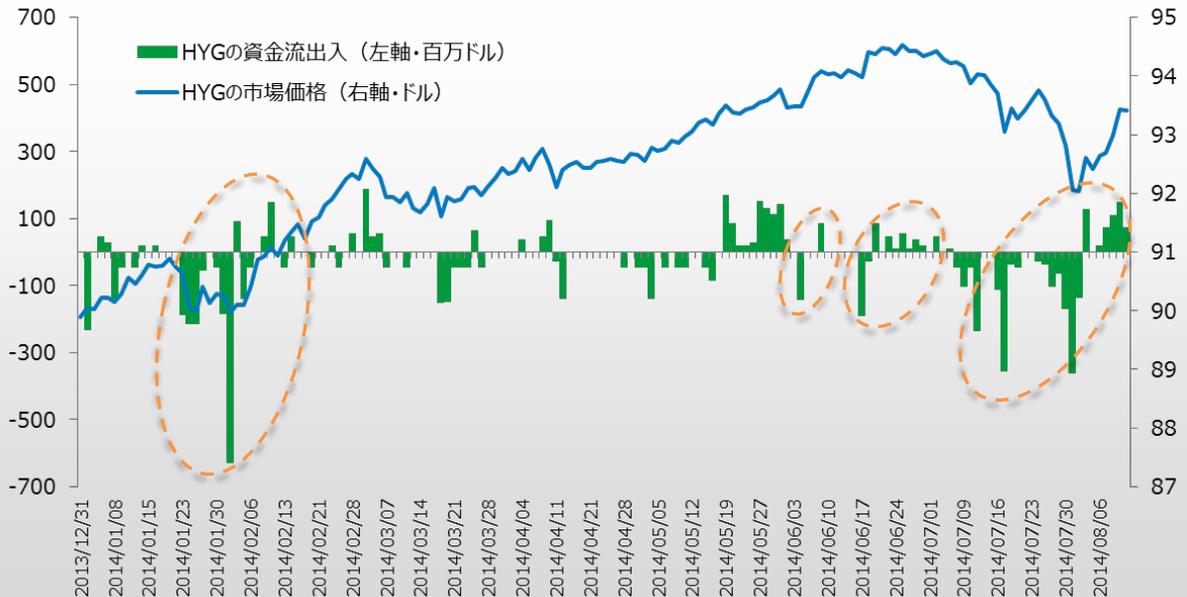
【世界のETFの資金流入（十億ドル）】



出所：ETP Landscape Jun 2014, BlackRock

## ETFから見る世界の投資家動向 ～ハイールド債券ETFからの流出入～

【HYG(iシェアーズ iBoxx 米ドル建てハイールド社債 ETF) の市場価格と資金流出入】



出所：ブラックロック、ブルームバーグ

7月から8月の頭にかけての様々な地政学リスクの高まり（ウクライナ、アルゼンチン、ポルトガル、イラク）に伴って、市場で注目を集めたのがハイールド債券の値動きとそれを投資対象とするETFからの資金流出でした。ハイールド債券のクレジットスプレッド（国債との利回り格差）は急速に縮まってきており、高値警戒感から資金が流出したと考えられています。ただし、ハイールド債券の資金流出入の傾向を見ていると、大きな資金流出のあった後、ほどなくして資金流入に転じる動きが年初からところどころで見られています。投資家はリスク回避の局面では確かにハイールド債券から資金を引き上げるような行動をとっていますが、一方でスプレッドがある程度拡大し落ち着きを取り戻すとすかさず資金を振り向ける動きが何度か見られます。今回も8月に入るとHYGへの資金は流入に転じており、金利が上がらない中での「利回り」に対する継続的なニーズがあるのではないかと考えられます。

### ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いは保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託（REIT）への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

### 手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただけます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://jp.ishares.com/>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

## ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110(部代表) <http://jp.ishares.com/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号

加入協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会